

各期の学修目標

1 年次春期

全学共通

- ①本学の建学の精神と教育目標を理解し、今後の大学生活の基盤を形成する。
- ②大学生の学びを自覚し、これから「何をしたいか」を考えて 4 年間の学習目標を立て、学習計画を作成する。
- ③情報化社会における基本的なルールとスキルを身につける。
- ④社会人となるための心構えを学ぶ。

人文学科

<共通>

- ①自らの実力を把握するとともに、自分なりの外国語学習のスタイルを確立する。
- ②日常的場面で使える語彙、基礎的コミュニケーション能力の向上を図る。
- ③日本語の基本的な語彙力と文章力を向上させる。
- ④実践的な学びをも含めて日本の伝統文化を学修し、異文化交流のための基礎を作る。

<英語>

- ①コミュニケーションのための英語を念頭に、英文法のおさらいと実践力の向上をめざす。
- ②春期末に TOEIC を受験し、自分の英語力を確認する。

<中国語>

- ①発音・基礎・初級文法を学びつつ中国語学習の基礎力を養成する。
- ②年度末の HSK2 級受験に向けた意識を作る。

<教員養成>

- ①教職とはどのような仕事であり、どのような社会的責任があるかについて学ぶ。
- ②3 日間の小学校交流体験活動を通して、教職に対する理解を深める。

留学生（国際日本コース）

- ①日本で大学生活を送るための基本的な知識や心構えを身につける。
- ②大学の講義を受講するのに必要な日本語の基礎固めをおこなう。
- ③留学生向けの講義科目を中心に受講することによって、日本の社会と文化に関する基礎知識を身につけるとともに、日本語での講義に慣れる

1 年次秋期

全学共通

- ①コミュニケーション力を基礎とした社会的能力を身につける。
- ②情報化社会における情報発信の基本的なルールとスキルを身につける。
- ③社会人となるための心構えや進路の可能性について学ぶ。

人文学科

<共通>

- ①日本の伝統文化についてさらなる知識を得る。
- ②引き続き、日本語能力の向上、英語語彙力と会話力の向上、中国語基礎力育成に努める。

<英語>

- ①TOEIC スコアに応じたレベル別のクラスで、英語4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を向上させる。

<中国語>

- ①さらなる学修で中国語基礎力を向上させる。
- ②学期末に HSK2 級を受験し、自分の実力を確認する。

<教員養成>

- ①教育の理念や教育の歴史について学ぶ。
- ②小中学校における学習チューター活動を行い、教職に対する理解を深める。

留学生（国際日本コース）

- ①日本で大学生活を送るための基本的な知識や心構えをさらに充実させる。
- ②1年次春期に引き続き、大学の講義を受講するのに必要な日本語の基礎固めをおこなう。
- ③留学生向けの講義科目を中心に受講することによって、日本の社会と文化に関する知識を広げるとともに、日本語での講義に習熟する。
- ④日本語能力検定試験の目標を定め、2年次春期以降の学修計画を立てる。

2年次春期

全学共通

- ①論理的な思考力を養い、現代社会における適応力を身につける。
- ②日本の伝統と文化に対する理解を深めるとともに、欧米やアジアの文化を広く学ぶ。
- ③自分の目指すキャリアを見据えた学修計画を立てる。

人文学科

<共通>

- ①2言語習得のために、自分の弱点を把握してその克服を目指す。
- ②資格試験に向けた対策に取り組む。

<英語分野>

- ①TOEIC スコアに応じたレベル別のクラスで、英語4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を向上させる。
- ②日本語と英語を交えた授業を通じて、英語はツールである意識を高める。

<中国語分野>

- ①レベル別学修により中国語初級文法理解と作文・聴解等運用能力を向上させる。
- ②自分の習熟度に合わせて、HSK2 級以上の合格を目指す。

<日本文化分野>

- ①日本文化の諸分野に関する通時的理解を形成する。
- ②研究方法に関する知識を獲得する。

<教員養成>

- ①道徳と教科における、指導の理念と指導の方法を学ぶ。
- ②小中学校における学習チューター活動を行い、教職に対する理解を深める。

留学生（国際日本コース）

- ①日本語科目や留学生講義科目を通じて日本語能力の向上を図る。
- ②日本の歴史や伝統文化に対する理解を深める。
- ③目標に応じた日本語能力試験の具体的対策を進め、受験に挑戦する。
- ④必要に応じて英語能力の向上を図る。

2年次秋期

全学共通

- ①現代社会とマナーについて学び、社会人基礎力を修得するとともに、将来の社会人としての自覚を持つ。
- ②3年次（第5セメスター）以降の学習目標と学習計画を立てる。
- ③専門とする言語科目の基礎的運用能力を確立する。

人文学科

<共通>

- ①目標とする資格試験（TOEIC／HSK）に向けた準備を進める。
- ②外国語を用いて自らの考えをまとめ、発表できる、発信力の習得を目指す。

<英語分野>

- ①TOEIC スコアに応じたレベル別のクラスで、英語4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を向上させる。
- ②主に英語を使う授業を通じて、英語の語彙力を高める。
- ③TOEIC 470 点以上を目指す。

<中国語分野>

- ①初級文法の知識を応用して会話と作文の能力を向上させる。
- ②学期末に HSK3 級を受験し、中国語基礎の習得を確認する。

<日本文化分野>

- ①世界の中の日本文化という視点を獲得し、他国の文化を理解する。
- ②研究方法の実践的運用を目指す。

<教員養成>

- ①国語科・英語科の教科の指導の方法と、日本の教育制度について学ぶ。
- ②小中学校における学習チューター活動を行い、教職に対する理解を深める。

留学生（国際日本コース）

- ①日本語科目や留学生講義科目を通じて日本語能力のさらなる向上を図る。
- ②日本の歴史や伝統文化に対する理解をいっそう深める。
- ③目標に応じた日本語能力試験の具体的対策をさらに進め、受験に挑戦する。
- ④必要に応じて英語能力の向上を図る。

3年次春期

全学共通

- ①アカデミアゼミにおいて専門的な調査・研究をスタートする。
- ②自身の専門以外にも、広い教養を身につける。
- ③自己分析によって自分の適性・希望を把握し、それに応じた企業研究を行なう。
- ④時事問題に対する関心と理解を深める。
- ⑤自分の目指すキャリアと今の実力との間の差を認識し、対策を立てる。

外国語専攻

<共通>

- ①2年次までに身に付けた外国語の基礎を実践力へと変えていくことを目指す。
- ②TOEIC スコア、HSK の級の向上（3級→4級、4級→5級）を目指す。
- ③興味と研究課題に応じてドイツ語、韓国語など、新たな言語の修得を目指す。

<英語>

- ①英語で理解し、英語で考え、英語で発信する力を身につける。
- ②様々な分野を英語で学ぶ授業を通じて、ディスカッションやプレゼンテーションなどの活用スキルを磨く。

<中国語>

- ①自分のレベルに合った授業を選択履修し、各自の習熟度に合った級の HSK（3級、4級）合格を目指す。

<教員養成>

- ①英語科の指導方法についての学び、生徒指導の目的や方法について学ぶ。
- ②小中学校において、教職インターンシップを行い、教職に対して一層の理解を深める。

日本文化専攻

- ①自分の専攻したい分野を決定する。
- ②自分の専攻したい分野の専門知識を修得する。

<教員養成>

- ①国語科の指導方法について学び、生徒指導の目的や方法について学ぶ。
- ②小中学校において、教職インターンシップを行い、教職に対して一層の理解を深める。

留学生（国際日本コース）

- ①2年次秋期までに身につけた日本語の基礎力を実践力へと発展させていくことを目指す。
- ②自分の研究課題に応じたアカデミアゼミに所属し、研究を始める。

- ③日本語講義科目を通じて教養を身につけ、日本語科目を通じて日本語での文章作成能力を向上させる。
- ④日本での就職を目指すための講座を通じ、心構えと必要な知識を修得する。
- ⑤必要に応じて英語能力の向上を図り、あるいは他の外国語の修得にチャレンジする。
- ⑥日本語能力試験 N1 合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。

3 年次秋期

全学共通

- ①引き続き、アカデミアゼミにおいて専門的な調査・研究を進める。
- ②引き続き、自身の専門以外にも、広い教養を身につける。
- ③卒業研究のテーマを決定する。
- ④引き続き、時事問題に対する関心と理解を深める。
- ⑤面接、エントリーなど就職活動に向けて具体的な準備を始めるとともに、必要なスキルを身につける。

外国語専攻

<共通>

- ①外国語で様々な分野を学ぶことで、外国語実践力の更なる向上をめざす。
- ②自らの目指すキャリアに応じて目標を設定し、TOEIC スコア、HSK の級の向上（3 級→4 級、4 級→5 級）を目指す。
- ③ゼミナールなどで卒業研究に必要な原書読解能力を身につける。
- ④ドイツ語・韓国語などの学修をさらに進め、興味や卒業研究のテーマに応じて自ら目標を設置する。

<英語>

- ①ゼミナールなどを通じて、受動的な英語学習から能動的な英語学習へと移り、興味のある分野を自主的に学ぶ姿勢を身につける。

<中国語>

- ①引き続き自分のレベルに合った授業を選択履修し。学期末に HSK4 級以上の合格を目指す。

<教員養成>

- ①教育心理学、教育相談論、特別活動論等、生徒の発達段階に合わせた指導の方法について学ぶ。
- ②介護施設や養護学校において、介護体験を行う。

日本文化専攻

- ①専攻する分野の知識を確実なものとする。
- ②資料・文献読解能力を向上させる。

<教員養成>

- ①教育心理学、教育相談論、特別活動論等、生徒の発達段階に合わせた指導の方法について学ぶ。
- ②介護施設や養護学校において、介護体験を行う。

留学生（国際日本コース）

- ①3年次春期に引き続き、日本語の実践的能力のさらなる向上を目指す。
- ②アカデミアゼミでの研究を進める。
- ③日本語講義科目を通じて教養を身につけ、日本語科目を通じて日本語での文章作成能力を向上させる。
- ④日本での就職を目指すための講座を通じ、心構えと必要な知識を修得する。
- ⑤必要に応じて英語能力の向上を図り、あるいは他の外国語の学修を進める。
- ⑥日本語能力試験 N1 合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。

4年次春期

全学共通

- ①卒業研究の骨格を作る。
- ②自分の希望進路に向けて具体的行動を取り始める。
- ③日本語能力試験 N1 未合格の留学生は卒業までの合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。

外国語専攻

<共通>

- ①3年次までに修得した外国語基礎力・実践力ならびに外国語を通じて得た知識を更に発展させ、海外でも活躍できる人材になることを目指す。
- ②ゼミナールなどで卒業研究に必要な原書読解能力を身につける。

<英語>

- ①就職活動に必要なレベルまで英語力を高め、TOEIC スコア向上を目指す。

<中国語>

- ①実践的な会話力と文章力を習得していくとともに、HSK の級の向上（4級→5級、5級→6級）を目指し、自分の目標に応じて自律的に学修を進める。

<教員養成>

- ①教育実習のための事前指導、教育実習後の事後指導を受ける。
- ②中学校や高等学校において、教育実習を行う。

日本文化専攻

- ①専攻分野から日本文化の歴史的・現代的側面をとらえる。
- ②資料・文献を効果的に用いる能力を身につける。

<教員養成>

- ①教育実習のための事前指導、教育実習後の事後指導を受ける。
- ②中学校や高等学校において、教育実習を行う。

4 年次秋期

全学共通

- ①卒業研究を完成させる。
- ②進路を確定させる。
- ③日本語能力試験 N1 未合格の留学生は卒業までの合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。

外国語専攻

<共通>

- ①卒業後も自律的に学修を進め、生涯のキャリアとして活かすための力を身につける。

<英語>

- ①就職後に業務の上で活用できるレベルの英語力獲得を目指す。

<中国語>

- ①ビジネスで通用する会話力と文章力の習得と、HSK5 級以上の合格を目指し、自分の目標に応じて自律的に学修を進める。

<教員養成>

- ①教育現場における様々な体験を通して、教職実践力の向上を図る。

日本文化専攻

- ①各自が研究成果を公表することで、日本文化の諸相を理解しあう。
- ②成果を効果的にプレゼンテーションできる能力を修得する。

<教員養成>

- ①教育現場における様々な体験を通して、教職実践力の向上を図る